

むつみだより

令和7年2月号 No.304
母子生活支援施設
仙台むつみ荘

暦のうえでは春を迎え、玄関先のパンジーも柔らかな陽を浴びながら、けなげに咲いています。暖冬とは言え、朝晩の冷え込みはまだまだ厳しく、健康管理が難しい時期です…。寒さを吹き飛ばせる様に、よく食べよく眠り、規則正しい生活を心掛けていきましょう。また、「笑うこと」も免疫力アップにつながると言われていて、大声で笑ったり、作り笑いをしたりするだけでも細胞が活性化されるそうです。家族やいろいろな人と会話を楽しみながら笑って過ごす時間が増えるといいですね。

もちつき会



他の母子生活支援施設の子ども達を招待し、30名近い人数でもちつき会を行いました。杵を振り下ろす時の「よいしょ〜！」と威勢のいい掛け声！職員がつく時には、一層大きな掛け声が園庭中に響き渡っていました。今年から、コロナ禍から中止していた『自分達でついたおもちを皆で食べる』を再開。みたらし・きなこ・納豆の3種類の他、雑煮も作って提供しましたが、一番人気は納豆もち！雑煮を何度もおかわりしたり、箸休めのきゅうり漬やかまぼこも完食する勢いでした♪

食後は、正月遊びのかるた(『仙台弁かるた』)、けん玉、コマ回しを楽しみました。けん玉やコマ回しは難しい技や、連続何回続けられるか挑戦し会場は活気にあふれていました。そんな中、興味はあるけどうまくできない、初めてコマを回すという子がいると、自然と周りの子が教えたり、応援し励まし合っている姿がとても微笑ましかったです。冬休み最終日だったこの日、正月ならではの伝承行事にみんなで触れて、いい時間を過ごすことができました。来年もお楽しみに。

今月の行事予定



- 節分豆まき (小学生対象)
- 幼児節分会食
- バレンタインクッキング (小学生対象)



節分

「節分」とは、季節の変わり目という意味で、今は主に、立春の前だけを言います。昔の人は、悪いものや災いにたとえ、豆をまいて追い払っていました。それが節分の行事として、今でも行なわれています。今年はどんな鬼を退治しようかなあ…

スケート教室

子ども会で、冬のレクリエーション体験とし、アイスリンク仙台でスケート教室を行いました。スケート靴とヘルメットを着用し、準備体操をして準備万端！はじめの1時間はインストラクターから氷上での立ち方や、上手な転び方など、基本的な滑り方を教えていただきました。

始めのうちは、「手すりにしがみついていないと動けない」と泣きそうになっていた子も、1時間後には自力で立ち、軽く滑ることができるようになっていました◎後半はフリースケーティング♪ スケート補助具のソリやスケートヘルパー(アシカの形)を使いスイスイ滑る子どもたち。慣れた子は補助具なしで滑りだし、転んでも最初に習った戻り方ですぐに立ち上がり、一生懸命頑張る姿を見ることができました。たくさん滑って疲れたのか、帰りのバスではぐっすり。むつみ荘に帰ってきてからは、自分たちのスケートについて会話が弾んでいました(笑)

